
東京カシス

頼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東京カシス

【Nコード】

N8864B

【作者名】

頼

【あらすじ】

高校を卒業してすぐに島を出、単身上京をしたギター少年・飛鳥と、故郷に残され家業の手伝いをする由依。そして音信不通になってから3年。由依のもとにサポートギターマンとして芽を出した飛鳥から『ちよつと来てくれないか』と電話を受ける…

(前書き)

初投稿でへちよいです) 、 、 (

因みに別のHNでサイトに載せた話の改造なので、見覚えのある方
いらっしやいましたら……盗作じゃありませんのでっ焦

夜に沈む
ちりばめた宝石
発光ダイオード
口に入れた
味のないチエリー

——東京カシス

洒落れたバーだった。
何となくあいつは店の雰囲気にあっていた。
さすがは行きつけ、一般市民とは違うもんだ、やっってることが。

「…いきなりごめん、」

「別に…暇だったし」

顔を見ずに答えた私に飛鳥は「うん…」とかえして、真っ赤なチェリーを沈めたカクテルに薄い唇を寄せた。

カクテルに沈めるチェリーは美味いときいたことがない。
むしろ不味いとさえきく。
なぜ沈めるのかは、知らない。

「…東京は、どう？」

「うん、慣れた…かな。いいよ、とても。」

また、一口。

「…都会って怖いのかって思ってたけど、そうでもないんだ、よくしてくれる人はたくさんいる」

いつから。

いつから飛鳥はこんな”大人”みたいになったの、

夢があると島を出た。

ごめん、と一言を残して私を置いてけぼりにした。

あの時一緒に行こうと手をさしのべてくれてたら、私はなんの躊躇いもなく、あんたの手をとったのに。

泣くに泣けなくて、涙を流したのは一週間もしてだったんだ。

「なんで今更、って思った、よな」

私はあの頃に立ち尽くしたままだよ。
あの時からなにひとつ動いちゃいないんだ。

「……………」

甘いはずのカクテルが苦い。

アルコールがまわらない。

時間は進んでいるのだろうか。目は、やっと薄暗いバーになれてきていた。

「…なんでわざわざ東京までよんだの、」

「…言いたい、ことがあった」

「…なに、」

飛鳥は言っつのを躊躇らつてゐるらしかつた。

唇がモゴモゴと動いている。

それにクスリ、と笑つてみせたら困つた顔で少し睨まれた。

ああ、その癖はなおつてなかつたんだね。

どこか安堵する自分が嫌だつた。

「…なに？」

「……一緒に、住まないか」

躊躇うはずだつた。

現に少し驚いた。

そんな顔をしてしまつたんだろう、飛鳥の顔はきまらずそつだ。

「……ごめん、それだけなんだよ」

「……、」

「……高校を卒業して、体いつこで東京に出て、いろいろあったよ、
ここまでくるのに。」

「……うん、」

「ずっとお前の事を考えてた。ずっと後悔してた、無理矢理にでも
連れてくりゃよかったなって。……でも、俺のエゴじゃ、由依を縛っ
ちゃダメだと思ったんだ……おまえは、俺には捕らえとく事は出来
ないって」

飛鳥は、何を言ってるんだろう。

私はもうずっと前から飛鳥のものなのに。

それも動けなくなるほどに……縛っちゃいけないと思ってたのは私も
同じだったんだよ。

「忘れられるって思ってた。…でもこうやって何とかなっただ今でも、
ずっとずっと由依のこと、考えてる。…オナノコだって抱いて
みたけど、ダメだった…なあ、まだ、妬いてくれる？」

「忘れたかったのはなに？」

「忘れたいわけじゃない。」

「忘れなきや」

そんな激しい思い込みだった。

例えばもうずっと離れることはないのなら、それこそ東京の夜のよ
うな甘く苦い素敵な事だろう。

あの時から変わっちゃいないのは私もあいつも一緒だったのかな。

そして呼ばれただけで東京にまで出てきたところからまた、全部は
じまっていたんだ。

「……妬いたげない、」

あいつのカクテルに沈んでいたチェリーを口に運んだ。
噂どおり酷い味。

おもむろに、二人して微笑んだ。

おわり

(後書き)

ここまで読んで下さりありがとうございます！
よかったら評価したってください！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8864b/>

東京カシス

2010年10月25日02時42分発行